

国土交通省淀川ダム統合管理事務所 独立行政法人水資源機構木津川ダム総合管理所
資 料 配 付

配 布	平成19年 7月17日
日 時	14時30分

件 名	布目ダムの洪水調節効果について ～布目川（興ヶ原地点）の水位を54cm低減～
-----	---

概 要	独立行政法人 水資源機構 木津川ダム総合管理所 布目ダム管理所では、7月16日16時から降り始めた降雨により、ダムへの最大流入量毎秒約140 m ³ を記録しました。 この出水に対し布目ダムでは、洪水調節を実施し、ダム下流布目川（興ヶ原地点）の水位を54cm低減させました。
-----	---

取 扱	今回の発表は速報値であり、今後の調査により数値等が変わる可能性があります。
-----	---------------------------------------

同 時 配 布	奈良市政クラブ
---------	---------

問い合わせ先
国土交通省 淀川ダム統合管理事務所 副所長 永野 純一（ながの じゅんいち） 電話：072-856-3131（代表）
独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所 副所長 中谷 享一（なかたに きょういち） 電話：0595-64-8961（代表）
布目ダム管理所 所長 池上 眞二（いけがみ しんじ） 電話：0742-94-0231（代表）

布目ダムの洪水調節効果について

－ 布目川（興ヶ原地点）の水位を5.4 cm低減 －

7月16日16時より降り続いていた雨は、布目ダム上流域で17日0時から1時の1時間の流域平均雨量が28.2mmを記録（井之市30mm、針ヶ別所33mm、峰寺19mm）するなど、17日3時までに総雨量は、75.1mmとなりました。

この降雨で流入量が増加し、17日1時50分には洪水量（毎秒100m³）に達したため、洪水調節を開始しました。

17日2時15分に流入量が最大（毎秒約140m³）となりました。同時刻のダムからの放流量は毎秒約30m³であり、布目ダムで毎秒約110m³の調節を行いました。

このような前線による激しい降雨でしたが、ダム下流の興ヶ原水位局舎付近では、布目ダムの洪水調節により、布目ダムが無い場合に比べて河川の水位が約0.54m低減し、下流の水田及び畑等への被害の軽減に効果があったものと考えられます。

布目ダム下流平面図

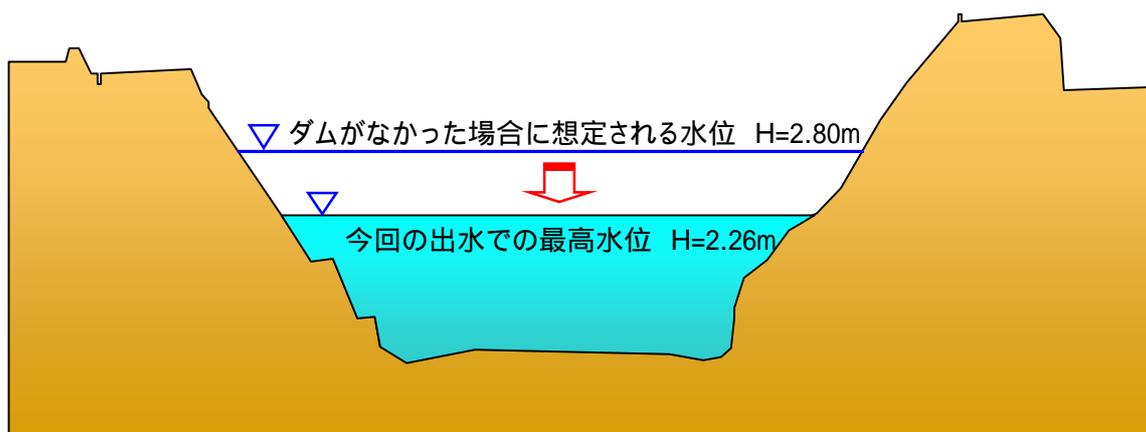


淀川流域平面図



平成19年7月17日(前線)

布目ダムの洪水調節状況(興ヶ原地点)



ダムにより約54cmの水位低減効果がありました。

平成19年7月17日 出水状況

布目ダム操作概況図

